

やまめ

154号

五木村議会だより 2026.1.31発行

- 新春議長あいさつ P2
- 令和7年 第4回臨時会 P3
- 令和7年 第4回定例会 P4~5
- 一般質問 P6~11
- 中学生議会 P12~13
- 委員会報告 P14~15

宮園地区 どんどや (おにびだき)

新年議長あいさつ

— 新年 明けましておめでとうございます。 —

皆様には希望に満ちた新年を穏やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

念頭にあたり、議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと五木村議会では、7月に改選が行われ8人の新体制でスタートをさせていただきました。国政におきましては地元選出の金子恭之衆議院議員が国土交通大臣に就任され、県政では緒方勇二県議会議員が熊本県議会副議長に就任されました。

このことは令和2年7月豪雨災害で被災した球磨川流域の復旧・復興そして五木村振興などに大きな支援を頂けると期待しています。

五木村においては半世紀以上にわたる川辺川ダム計画が「貯留型ダム」から「流水型ダム」に変更手続きが着々進められています。議会としては本体制着工が予定されている令和9年を見据えてこれまでの議会の姿勢を貫き五木村振興を最優先課題としてしっかりと議論を行います。

そして、熊本県と国には、将来に禍根を残さないよう

に申すべき事は申し上げて持続可能な自治体として村の執行部と議会で切磋琢磨しながら村民の皆さまのご意見を伺い、寄り添い、私たちのふるさと五木村づくりに、より住み良い

安心安全の村づくりに取り組んでまいります。

また、議会の権限として規定されている①議決権 ②選挙権 ③検査権 ④監査の請求権 ⑤意見書の提出権

⑥調査権 ⑦自律権 ⑧同意権 ⑨承認権 ⑩請願、

陳情を受理し、処理する権限 ⑪報告、書類の受理権

これらの権限を議会の意思決定に基づいて有効に発動し、村の振興発展に寄与できるように努力していきたいと考えていますので、どうぞご指導、ご協力をお願いいたします。

結びに、この1年が、災害の無い平穏な年でありますようにまた、村民の皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



早田 吉臣

五木村議会 議長

令和7年 第4回臨時会

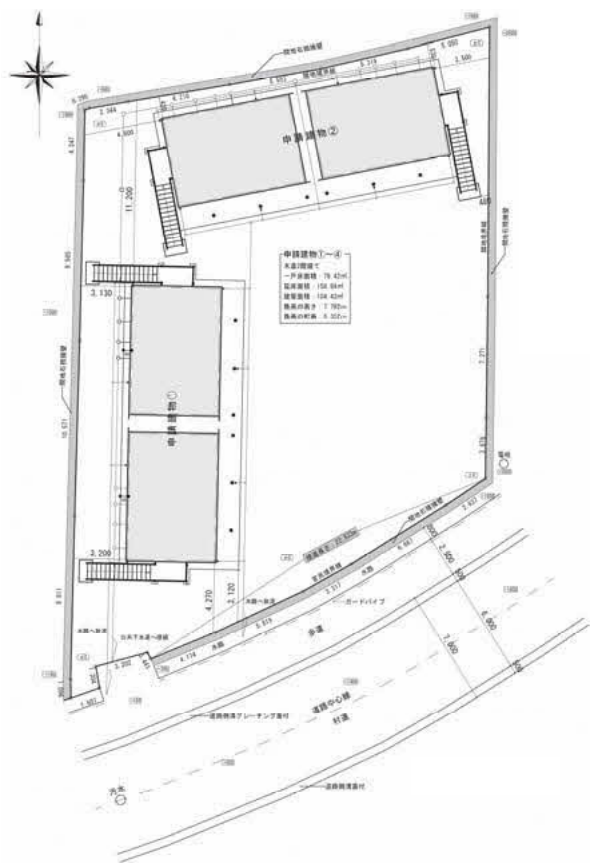
令和7年10月20日、令和7年第4回五木村議会臨時会を開会。

議案第51号工事請負契約の締結について(村営一般住宅頭地G団地新築工事)を議会にて審議した。
この議案について全会一致で可決した。

議案名	議案第51号 工事請負契約の締結について(村営一般住宅頭地G団地新築工事)	全会一致 可決
契約の目的	村営一般住宅頭地G団地新築工事	
契約の方法	指名競争入札に付し落札契約	
契約の相手方	熊本県球磨郡五木村甲1046番地9 株式会社技建日本 代表取締役 堀川匠太	

賛成…○ 反対…× 退席…退

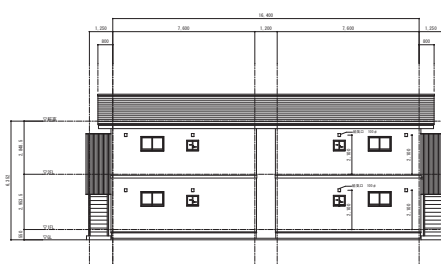
議 案 名		田 山 淳 士	黒 木 一 秀	西 村 久 徳	中 村 弘 信	園 田 久	中 村 俊 也	豊 永 勝 彦	審議結果
議案 第51号	工事請負契約の締結について (村営一般住宅頭地G団地新築工事)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成



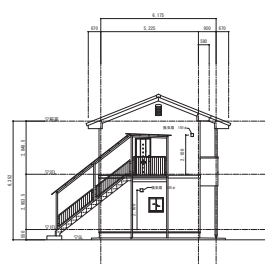
配置図



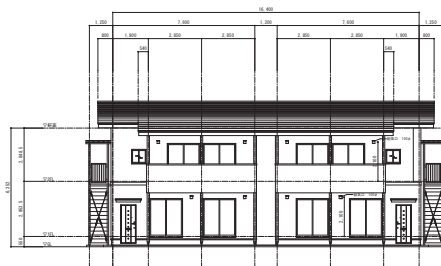
案内図



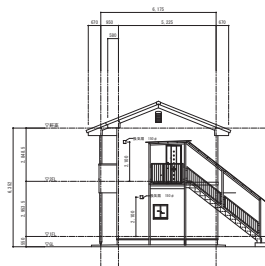
北側立面図



西側立面図



南側立面図



東側立面図

一般会計補正予算を 3,494万1千円の減額、 総額42億249万6千円とする 補正予算を可決

12月
定例会

令和7年第4回定例会が12月10日(水)から11日(木)の2日間で開催された。請願1件、条例の制定2件、条例等の一部改正1件、補正予算6件の合計10件が上程された。

1日目は諸般の報告、委員会の報告、請願について、提案理由の説明、議案審議。大通りトンネル建設の請願については、特別委員会を設置。委員長に中村俊也議員。副委員長に豊永勝彦議員を選出して審議することを決定した。

2日目は、6名の議員が一般質問を行い、生活道路の維持管理や災害復旧事業、特産品生産、水没予定地にある施設移転、事務執行体制、水道施設、防災力強化等について執行部を質した。また、討論、採決がおこなわれ一般会計補正予算以外は全会一致で可決した。なお、一般会計補正予算では、旧二中校舎解体工事費の増額内容が不明瞭だとの反対討論あり、採決の結果により賛成多数で可決し、その後閉会とした。

【一般会計補正の主なもの】

総務費

ふるさと納税事務代行業務委託料	▲768万円
五木村ふるさと寄付金積立金	▲2,100万円
地方バス運航等特別対策補助金	1,322万4千円

民生費

障がい福祉サービス費等給付金	603万2千円
----------------	---------

農林水産業費

自伐型林業育成定住促進事業業務委託料	▲650万円
村有林素材生産間伐事業業務委託料	▲1,228万5千円

商工費

次世代を担う事業者支援補助金	▲2,000万円
----------------	----------

消防費

防火水槽修繕費（下平瀬）	60万円
--------------	------

教育費

義務教育学校看板設置業務委託料	150万円
旧二中校舎解体工事	400万円

— 第4回定例会 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案名	田山淳士	黒木一秀	西村久徳	中村弘信	園田久	中村俊也	豊永勝彦	審議結果
議案第52号 五木村空き家等対策の推進に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第53号 五木村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第54号 熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第55号 令和7年度五木村一般会計補正予算(第3号)	○	○	×	○	○	○	○	原案可決 賛成多数
議案第56号 令和7年度五木村国民健康保健特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第57号 令和7年度五木村介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第58号 令和7年度五木村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第59号 令和7年度五木村墓地公園特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第60号 令和7年度五木村情報通信事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

お詫びと訂正
やまめ153号で村長と教育長の給与額に間違いがありました。
正しくは村長の給与は74万4千円、教育長の給与は51万4千円です。謹んでお詫びし、訂正いたします。



解体予定の元五木二中校舎

高齢化などによる生産者の減少への対策は

産業振興課長 補助金などを活用して支援していく

村の特産品について

議員

全国的に少子高齢化が問題になっているなか、本村でも生産者の高齢化で特産品の生産者が減少しているが、何か対策を検討しているか。

また、若い人達が取り組みやすいように補助事業の条件を見直す考えはないか。

土肥博司産業振興課長

特に五木村では人口が減少している中、全ての産業で人手不足が懸念されている。このような中で農産物の生産向上補助金などを活用し



中村 弘信 議員

て各生産組合の生産向上を支援している。また、補助事業の条件見直しについては現行で考えている。

議員

補助事業の条件見直しは、例えば椎茸の種駒接種一万個以上から五千個以上を対象にするとかしたら取り組みやすいと思う。

特産品がある事で来村者も増え、道の駅などの売上にも繋がると思うので、しっかりと検討頂きたい。



五木の様々な農産物の特産品

生活道路の維持管理について

議員

草や木が道路に被ったり、木の枝などが上から吊り下がったりして運転に支障があると聞くが、ドライバーの安全を守るためにも対策を検討してもらいたい。

また、これから降雪が見込まれるが、低地では少しの積雪でも高地では十センチを超える事があると聞くが、その対応についてどう考えているのか。

黒木光重建設課長

定期的に道路の巡回パトロールを業者

に委託しているが、行き届かない事もあるかと思う。村民の安全安心の通行のために適切な管理を行って行きたい。

議員

最近、異常気象で気温が上がって雑草の成長が早く見通しの悪い道路がある。要所を二回刈して頂きたい。また積雪状況については区長や住民の方に携帯等で情報を発信して頂き確認してはどうか。

建設課長

二回刈については聞き取りなどして検討していく。情報については村の通信機器やSNS等を駆使して発信していく。



積雪の様子

椎茸の生産量の減少に対する対応は

木下村長 補助体制の在り方を探っていきたい

椎茸原木の支援内容の変更について

議員 来年度から椎茸原木の支援内容を変更する理由及び内容はどう変わるのか。

土肥博司産業振興課長 購入原木の生産を森林組合がしなくなったというのが一番の原因である。併せて運搬費用の高騰により、購入原木の価格も高くなっており、このままだと購入原木自体での運営も厳しいということになっている。椎茸原木の補助金については4立方メートル以上で、これまでの自家原木は1立方メートルあたり5千円、購入原木は購入額の3分の2という区分を、一律1立方メートルあたり1万円ということに計画している。

議員 この変更内容について、椎茸生産者の方の意見はどうだったのか。



黒木 一秀 議員

産業振興課長 購入原木の方

については、これまでの補助内容の継続の意向もあった。

変えた理由と協力体制等については説明させていただいている。

議員

今後、椎茸の生産が大きく減っていくとも考えられるが、村長はこのことについて、どのように考えているのか。

村長

自家原木を生産組合の中で調整し、これまで購入された方に提供していただく。それについては、村の支援もやっていきたいと考えている。

議員

今後の椎茸生産量の維持、椎茸生産に対する支援の在り方について、村長としてどのように考えているのか。

村長

人口減少、高齢化によって、いろんな産業の衰退が顕著に表れてきている。新規参入とか、世代交代を早くやっていくべきで、補助体制の在り方を探っていきたいと思っている。

村道穂揚枝線の現状について

議員

村道穂揚枝線の路肩崩落か所の現在の状況はどうなっているのか。

黒木光重建設課長

路肩の沈下が少しずつ起こっているが、道路本体については沈下や崩落は見られない状況である。

議員

観測とか調査をいつまで続けていくのか。

建設課長

今のところ、状況を見守るしかないと思っている。来年度、この付近の調査を含めた予算を計上し、調査をしたいと思っている。

議員

地域の人たち、関係者の人たちは危険を感じながら通行している。この状況を村長はどのように考えているのか。

村長

令和8年度の予算編成において周辺一帯の地質調査



村道穂揚枝線の路肩崩壊の現場

査も含めて、どういう設計があるのかを踏まえて予算計上し、対応についてはこれから進めていきたいと思っている。

防犯カメラの補助について

議員

9月の定例会で防犯カメラの補助について検討しているとのことだったが、内容等決まったことがあるのか。

竹村文秀総務課長

現段階では対象は全世帯、基本的に1世帯1台、2分の1の補助で上限は1万円を考えている。

林道相良五木線の災害復旧工事の状況について

議員

林道相良五木線の災害復旧工事の現状はどうなっているのか。

建設課長

完了が1か所、施工中が1か所、未発注が10か所となっている。現在、大規模な工事は令和8年5月に完了予定であり、令和10年2月には全か所の完了を見込んでいる。

森林環境税を利用し森林整備を進める考えは

産業振興課長 今後も現状を把握しながら進めていく



園田 久 議員

水没予定地にある施設の移転・移植について

議員 五木村東地区まちづくりランドデザイン協議会で、平場の造成が計画されている水没予定地に、溪流ヴィラなど現存の建物や田口のイチヨウなどの歴史的樹木がある。移転・移植計画が現在どのようなになっているか伺いたい。また、平場造成後の利活用について、事業所や住民から要望を伺う機会を次回の定例会までに行なってはどうか。

村長 現時点では、移転・移植先について調査している段階である。国から許可が必要なものもあるので、専門家を交

えて関係各所と協議しながら今後計画を進めていく。平場の利活用について要望を伺う機会は、指摘通り次回定例会までを目安に調整していく。

車いすの利用について

議員 村内の車いす利用者の中で、自動車で自宅付近までたどり着けない世帯がある。どこまで把握しているか伺いたい。

高田孝浩保健福祉課長 現在の村内の車いす利用者は六名、そのうち一名が駐車場から自宅までの距離が離れていることを把握している。

議員 今後、高齢化が進むにつれ、車いす利用者の増加が予想される。現在移転が進む地域でも、移転先が自動車道から離れた箇所がある。急病や災害など緊急時の困難が予測されるため、整備をしてはどうかだろうか。他にも住民からの要望を聞き、随時整備を検討してもらいたい。

村長 平瀬地区の村道折立線の改良が済むとその線を利用して、路線がない集会所の狭い歩道を利用しての住民の方々からの要望に取組んでいく。

※ 森林環境税および森林環境譲与税について

議員 森林環境税の使い道について伺いたい。

土肥博司産業振興課長 林業担手の育成と対策、木材利用の促進・普及・啓発、森林の間伐など「森林を活用する、森林を守っていく」ことへ活用している。

議員 現在山林では、戦後の国策で拡大された造林が収穫時期に達している。しかし、山奥にあり、主伐（木材を利用するための伐採）どころか利用間伐（森林の健全な成長を促すための伐採すらできない場所がある。古木は放置すると、倒木や山の倒壊の危険性があるため、その対策に森林環境税を活用できないだろうか。

その際 環境に配慮し、人的負担が軽減できる「巻き枯らし（樹木を伐採せずに、樹皮などを剥ぎ取る）」を取り入れるのはいかがだろうか。

産業振興課長 山奥の利用間伐ができない箇所については、切り捨て間伐を推奨し、すでに村独自の補助金制度がある。巻き枯らしは、熊本県の森林整備事業の中で補助金の対象外となっているが、今後は現状を把握しながら、内容を精査し検討していきたい。



手入れが必要な村有林

※森林環境税とは……森林整備のための財源を安定的に確保する目的で、令和6年度から導入された国税。市区町村が個人住民税均等割と併せて年額千円を徴収している

モデル林整備事業の状況は

産業振興課長 必要な整備や連携した商品化を検討する

高齢者向け住まいの整備

議員 検討しているグループホーム等整備はどこまで進んでいるのか。次年度に向けた方向性や、令和8年度予算の考えはあるか。

高田孝浩保健福祉課長 協議会で高齢者向け住まいの基本方針を作成し、整備場所・施設種別・運営主体を協議している。1月下旬に協議会で意見を聴き、議会・地元説明を経て年度内に方針と箇所を決め、令和8年度当初予算に設計費を計上する。

高齢者笑顔支援事業

議員 対象者数と給付後の反応はどうか。次年度も継続するのか。



豊永 勝彦 議員

保健福祉課長

75歳以上13名に年2万円を給付し、総額626万円。物価高の中で年金生活者から好評である。継続に前向きだが、支給額見直しも含め議会意見や社会情勢を踏まえ判断する。

モデル林整備事業

議員 遊歩道整備や枝打ち、モニターツアー等はどういうか。次年度以降も取り組むのか。

土肥博司産業振興課長 大通峠周辺で村有林と国有林(協定分収林)を活用し、利用間伐やヒノキの枝打ちを行っている。搬出路を活かした遊歩道、案内看板、ベンチや山小屋等



モデル林でのモニターツアーの様子

林業担い手外国人受入実証事業

議員 外国人受入の現状はどうか。次年度以降も受入を考えるのか。

産業振興課長 昨年度から研修を進め、今年7月に2名が入国し、村内2事業所に所属している。勤務態度は真面目で、生活面も支援を受け概ね順調である。来年2月の技能検定等を踏まえ、まず3年間で有効性を検証し次を検討する。

Jクレジット販売促進事業

議員 取得したクレジットの販売は進んでいるのか。

産業振興課長 村有林で約3万600トン登録し、販

売可能分4,270トンを確認した。文京区へ毎年500トン8年間販売し、他企業への販売拡大を進める。

防災士養成事業

議員 受講料等補助の実施状況はどうか。

竹村文秀総務課長 今年度は具体的に進められていない。今後は周知を強め、まず職員中心に取得を促し、費用の半額程度を助成する。

執行体制について

議員 義務教育学校開校など大型事業が続く中、執行体制をどう整えるのか。

村長 振興は待ったなしで、5年間に集中して事業を進めるため負担が増える。県7名・国1名の人的支援等を活用し、職員の研修も進め、実行できる体制を整える。

安心・安全の確保する生活基盤の整備は

木下村長 計画に沿って進めていく



中村 俊也 議員

安心・安全を確保する生活基盤の整備、防災力強化について

議員 水道設備の整備・改修・維持について、老朽化や高齢化の中、調査を含めどのような対策がとられているのか。

村長 令和3年に簡易給水施設の老朽化の診断を行い、それに基づき順位付けをした計画に沿って進めている。

黒木光重建設課長 診断の結果23箇所改修で概算工費は約1億5000万円だった。

災害で水源地が被災した箇所から優先的に進めている。

議員 老朽化によるバルブや浄化施設・水道管の破損によ

る漏水が多く見られている。村内に専門業者が少ない中、その対処・対策は。

建設課長 休みであっても職員が現場に向き、業者との連絡調整を行っている。また、各地域から水源地の管理の難しさが課題として上がっており、財源の確保を含め、急速な過機の設置など対応を進めている。

議員 消防団は地域防災力の中核として欠くことのできない重要な組織である。全国的に大規模な住宅火災や森林火災が相次いでいる中、機能別団員の状況も含めた現状は。また消防団員の処遇・待遇の改善、防災拠点となる防災センターの設置についての考えは。

議員 消防団は地域防災力の中核として欠くことのできない重要な組織である。全国的に大規模な住宅火災や森林火災が相次いでいる中、機能別団員の状況も含めた現状は。また消防団員の処遇・待遇の改善、防災拠点となる防災センターの設置についての考えは。

竹村文秀総務課長 消防団員の定数が130名の中、団員が65名、機能別が7名、計72名という状況である。出動費は1日当たり8000円と改善はしているものの団員増加にはつながっていない。当初

式や訓練・郡大会・県大会等の負担の声も聞かれる。

村長 拠点となる防災センターの設置等については今後も協議していきたい。

議員 全世帯に設置が義務付けられた火災報知器の電池切れや故障が多発している。村として補助等の考えは。

総務課長 連絡があればその都度対応しているが、補助については今現在を考えていない。



五木村消防団出初式の様子



昨年のヘリコプターも参加した防災訓練

令和 8 年度の予算編成は

木下村長 新たな振興策を追加した



早田 吉臣 議員

議員 令和8年度予算編成の基本方針は。

村長 今月末に1回目のヒアリングを行う。4つの重点項目「雇用の確保と移住・定住」「子供子育て、高齢者の総合的サポート」「地場産業と人材育成」そして、新たに「流水型ダムに係る新たな振興・再建に資する策」を追加した。

議員 流水型ダムに係る新たな振興策とは。

村長 真に振興につながる事業、これまでの予算措置の検証を行い精査し新たな振興策の予算付けを行って行く。

議員 雇用の確保、子育て支援の課題について8年度に向けての政策は。

村長 林業大学の拡充、義務教育学校の開始、他の小規模自治体で行っている山村留学、未来留学等の検討など。また係長以下の職員も議員の皆さんと意見交換を行いたい。

議員 産業振興の具体的な政策は。

村長 1月に商工会、林業事業体など各事業体と意見交換「新春の集い」を通じて意見交換して予算組をしていきたい。

議員 次世代を担う補助金、事業継承の計画はどうなっているのか。

村長 次世代の支援については、8年度で行う。事業継承については、商工会、役場そして金融機関と協定を結んでいきたい。

※コンパクトシティ構想について

議員 コンパクトシティ構想についてその後、検討されたのか。

村長 将来的に集落編成を含めてコンパクトシティ構想の中に施設集約と住民の暮らしの形を作るのか今の段階から検討を進めて行きたいと考えている。

議員 グランドデザイン協議会中ではコンパクトシティ構想の協議は無かったのか。

村長 グランドデザイン協議会では、コンパクトシティについての提案、具体的なものは無かった。

議員 空き家対策で他の市町村では建て替えに300万円から600万円など補助制度があるが、そのような考え方は。

村長 災害の後でのそのような補助はあるが、空き家として

でどれだけ補助するかは議会のみなさんと協議して行きたい。

議員 頭地地区の下水処理場の移転は。

村長 代替地の上下水道施設も含め下水処理場も技術的支援を併せて国と協議を進めてしっかりと行いたい。

議員 「お出かけ知事室」の意見でライドシェアの特支支援の話題があったが村長の受け止め方は。

村長 ライドシェアについて導入は、選択肢の一つとして認識している。

※コンパクトシティ…生活機能や住居を中心部に集約し、公共交通等で繋ぐことで、効率的で持続可能なまちづくりを目指す地域づくり。

※ライドシェア…一般のドライバーが自家用車を用いて、有料で利用者を目的地まで送迎する移動サービスのこと。

中学生議会 質疑応答

3年 淀川幸愛さん



焼畑は今、新聞やテレビ番組でも取り上げられるなどたくさん注目されています。

す。私たちも実際に体験し、五木村の伝統農法について学習してきました。私は、そんな焼畑をもっとたくさんの人に知ってほしいと思います。そこで焼畑の作業を、私たち中学生と一緒に観光客の皆さんと体験するイベントを行ってみてはどうでしょうか。宮崎県椎葉村では焼畑を実際に体験できる「焼畑ツアー」という取組があるそうです。五木村でも村内の方々が実際に焼畑を体験することができれば、五木村の伝統や魅力に新たに気づくこともできると思います。ご検討をお願いします。

山尾教育課長 ヒストリアテラス

での展示でPRしていく。天候に左右されるが、作業風景を見学する参観型のイベントは実施ができる可能性はある。



令和7年の焼畑の様子



五木源パークで開かれた「動物フェスタ」

2年 下野杏理さん



五木村には五木源パークや白滝公園などの公園があり、そこで開催されるイベントには

沢山の観光客が来てくださっています。その例として、先日行われた『動物フェスタ』は大盛況でした。私たちもよく訪れていますが、公園の中や駐車場に忘れ物やごみなどが落ちているのを目にすることがあります。イベント時には、物販テントの横にゴミ袋の設置などの工夫がされていますが、日頃から注意を呼びかけるポスターや看板、ごみ箱などを設置してみたいかがでしょうか。ご検討のほどよろしくお願ひします。

土肥博司産業振興課長 一度ごみ

箱を設置していたが、家庭ごみなどが大量に捨てられており、撤去した経緯がある。ゴミの散乱状況次第で、今後設置を検討する必要も考えられる。注意を呼び掛けるポスターは駐車場2カ所に貼ってある。

2年 杉本仁香さん



五木村は雄大な山々に囲まれており、自然

豊かな素晴らしい景色を見られる場所がたくさんあります。この豊かな自然をゆつくりと楽しめるように、五木産の材木を使ってベンチ型のブランコを作って公園などに設置するのはどうでしょうか。そうすることで、五木村に訪れる人々が増えることが期待されると思います。ご検討をお願いします。

土肥博司産業振興課長

以前にも木材を利用した遊具を設置していたが、木の腐敗や管理の難しさなどの問題から撤去した経緯がある。まだ作ることとは考えていないが、必要に応じて検討していく必要がある。

2年 高田栄翔さん



五木村には、災害時に備えた避難所がいくつもあります。しかし、現在はその

避難所もペットと一緒に避難することができません。ペットを家族の一員として大切にしている人にとって、ペットを置いて避難するのはとてもつらいことです。そこで、ペットと一緒に避難できる「ペット同行避難所」を五木村にも整備してはどうでしょうか。五木村でも、今ある避難所の一部にペット用スペースを設けたり、外に簡易テントやかごを設置することで、ペットと飼い主が安心して避難できる環境をつくることができるのではないかと思います。このような取り組みは、災害時の不安を減らすだけでなく、五木村が「人にも動物にもやさしい村」として信頼されるきっかけになると思います。

木下村長 動物アレルギーなどの方のことを考えると、ペット可の避難所を設置するのは難しいが、村民の方の意見も取り入れながら、対策などを考えた上で設置するかを検討していきたい。

2年 竹村心吾さん



五木村には、水質がとても良い川辺川が流れており、周囲にはたくさんの山が

あります。山には、水をたくわえたり、洪水を防いだりする働きがあると学習しました。将来、川辺川に流水型ダムが建設される予定ですが、何年かに一度の大雨によって、五木村が浸水したり、土砂災害が起きたりする可能性があるのではないのでしょうか。こうした被害を少しでも減らすため、山の働きをもっと高める必要があると考えます。そのために、根が浅く広がりにくい針葉樹だけでなく、根が深く広がって土をしっかり支える広葉樹も植えることが効果的だと考えます。ご検討よろしく願います。

土肥博司産業振興課長 森林所有者との話し合いを定期的に行っている。今生えている針葉樹は60年前の植林が盛んだった時代に植えたものである。今の時代から山の働きを考えて、経済林、生活林、景観林、保全林の4種の木を適した所に植えている。今後、広葉樹も視野に入れて対策していきたい。

1年 松永葡萄望さん



現在五木村にはたくさんの美味しい食べ物があり、その中でも、原木シイタケが有名で、毎年たくさんの方がシイタケを買って帰られます。

そこで提案です。五木のシイタケを更に有名にするために、シイタケの収穫体験を行うのはいかがでしょうか。体験を通して楽しんでくださることで、シイタケがより有名になり、村の活性化につながると 생각합니다。ご検討のほどよろしくお願いします。

土肥博司産業振興課長 本村では、農家の方に対してシイタケ栽培の支援をしており、村の活性化につながっている。以前、シイタケ収穫ツアーをしたことがあるが、時期の選定や参加者の確保が難しかった。今後は、やり方を工夫して考えていく。

1年 淀川歩睦さん



五木村に流水型ダムを作ること

で、溪流ヴィラなどの施設がなくなり、そこで働いている方の勤務先がなくなってしまうことにつながる

と考えています。そのような方々の新たな働き先は何か考えてあるのでしょうか。

木下村長 溪流ヴィラを運営している子守唄の里五木や働いている方々の意見を取り入れながら、検討していく。



川辺川ダム対策再建特別委員会報告

■視察研修

○期 間：令和7年11月17日～19日

○視察地 山形県最上町及び朝日町ほか

○目 的

①流水型ダムの環境への影響及びダム建設と地域振興（山形県最上町ほか）

②コミュニティ交通体系関係（山形県朝日町）

五木村議会ダム対策再建特別委員会では、令和7年11月17日から19日の日程で、現在、五木村が抱えている課題である川辺川の流水型ダムの河川環境への影響やダム建設に伴う地域振興策、コミュニティ交通体系の構築等について、先進地である山形県の最上町や朝日町等を訪問し、視察研修を行った。

1日目は山形県最上町を訪れ、流水型ダム「最上小国川ダム」建設に伴う課題や振興策等について研修を行った。

令和2年に管理運用が開始された最上小国川ダムは、現在、川辺川に計画されている流水型ダムと比較すると極小規模のダムであるが、完成から5年が経過し、最上小国川流域の河川環境の変化等が言われているダムである。

最上町では、まず、地元住民の方々から最上小国川ダム建設後の河川環境等の変化や魚類等の生態系への影響等について話を聞き、意見交換を行った。地元の方からは河川の土砂の堆積や河川の濁り、アユの品質の低下等、流水型ダムといえども「河川環境への影響は避けられない」とのことであった。

その後、最上小国川ダム本体の近くまで移動して現地を視察した。現地では、山形県の職員の方から最上小国川ダムの概要等や河川の状況等について説明を受け、上流の一部であるが河川の状況を見ることができた。

最上町役場では、議長及び職員の方から最上小国川ダム建設までの経緯やダム建設に伴う地域振興策等、これまでの取り組み等について説明を受け、意見交換を行った。



流水型ダムである最上小国川ダムの現地視察



山形県朝日町では新たな地域交通体系を先進地事例を視察しました

最上町では流水型ダム建設に伴い、治水対策と内水面漁業振興の両立による流域振興を目的に「最上小国川清流未来振興」を設立し、また、最上小国川流域における親水空間の創出・安全安心な河川整備を進めているとのことである。

最上町の人口は令和6年現在7,308人（世帯数2,748世帯）で、ダム建設による人口の増減は無いとのことである。

（参考）

○最上小国川流水型ダム（重力式コンクリートダム）

高 さ	堤頂長	湛水面積	総貯水量
41.0m	143.0m	0.28km ²	2,300千m ³

※川辺川の流水型ダム（重力式コンクリートダム）

高 さ	堤頂長	貯水面積	総貯水容量
107.5m	約262.5m	約3.91km ²	約13,000万m ³

2日目は、朝日町でコミュニティ交通関係の研修を行った。朝日町は世帯数2,280世帯、人口5,669人（令和7年9月30日現在）の町で、現在、デマンドタクシーと2方向の直行バス（寒河江市間の直行バスと山形市間の直行バス）の交通体系を構築している。

デマンドタクシーの運転業務と寒河江市間の直行バスはタクシー事業者へ委託、山形市間の直行バスは直営ということである。

この交通体系を構築するにあたり、デマンドタクシーについては制度設計、直行バスについては複数の市町をまたぐ自治体交通であったため、民間バス会社（山交バス）との協議が必要となり、その調整に苦労したとのことである。

2日目の午後は新幹線で東京まで移動し、国土交通省において「新たな五木村の早期実現に向けた振興計画」に関する要望活動を行った。

3日目は、つくば市の国立研究開発法人「土木研究所」で国土交通省の職員の方から川辺川の流水型ダムの本体を含む下流から上流にかけての区間を再現した超大型模型を使い、実際に上流側から水や土砂を流して平常時や洪水時における川の流れや洪水時の流量の調整機能、土砂や礫、石の流れ、分布状況等について説明を受けた。

今回の視察研修は日程的に、かなり厳しいものであったが、先進地での説明や意見交換、現地視察等を通して今後の五木村の課題等、参考になることが多く、有意義な視察研修となった。



金子大臣に要望書を提出しました



つくば市の土木研究所にて川辺川ダムの大型模型を視察しました

議会の動き(10月~12月)

- 10月
- 1日 定例全員協議会(全議員)
 - 7日 郡)町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会(全議員)
 - 9日 中学生議会(全議員)
県)町村議会議員オンライン研修(全議員)
第2回広報委員会(全委員)
第3回広報委員会(全委員)
 - 15日 県道五木湯前線・幸野染田線改良貫通促進期成会要望(議長・西村経済委員長)
 - 16日 県道五木湯前線・幸野染田線改良貫通促進期成会要望(議長・西村経済委員長)
 - 16日~23日 町村監査委員全国研修会(豊永監査委員)
 - 20日 第4回臨時会(全議員)
第1回決算認定審査特別委員会(全委員)
 - 21日 定例郡議長会議(早田議長)
 - 21日~23日 人吉下球磨消防組合議会視察研修(中村俊也議員)
 - 22日 例月監査(豊永監査委員)
 - 23日 第4回広報委員会(全委員)
 - 25日 五木分校文化祭(各議員)
 - 27日 川辺川ダム対策再建特別委員会(全委員)
 - 30日 森林・林業・林産業活性化九州大会:宮崎市(中村弘信議員・園田議員)

- 11月
- 5日 定例全員協議会(全議員)
ダム対策再建特別委員会(全委員)
 - 6日 第2回決算認定審査特別委員会(全委員)
 - 7日 県)広報委員研修会(全委員)
 - 8日~9日 五木の子守歌祭り(早田議長)
 - 12日~14日 町村議会議長全国大会及び要望・行政視察(早田議長)

- 12日 定期監査(豊永監査委員)
- 15日 多良木町合併70周年記念式典(田山副議長)
人吉市道中神大柿線天狗橋完成式(早田議長)
- 16日 五木中文化祭・人権コンサート(各議員)
東小ふれあいフェスティバル(各議員)
- 17日~19日 川辺川ダム対策再建特別委員会研修:山形県朝日町・最上町(全委員)
- 21日 例月監査(豊永監査委員)
- 26日 定例郡議長会議(早田議長)
- 27日 広域行政組合定例会(西村議員・園田議員)
- 29日 水上村創立130周年記念式典(早田議長)
村道松本大坂間線松本橋完成式(早田議長)

- 12月
- 3日 議会運営委員会(全委員)
定例全員協議会(全議員)
 - 5日 おでかけ知事室(各議員)
 - 10日~11日 第4回議会定例会(全議員)
 - 18日 人吉下球磨消防組合全員協議会(中村俊也議員)
 - 19日 下球磨町村議会正副議長会合同会議(早田議長・田山副議長)
 - 22日 人吉下球磨消防組合定例会(中村俊也議員)
例月監査(豊永監査委員)
 - 24日 郡)議長・副議長合同会議(早田議長・田山副議長)
人吉球磨広域行政組合議会定例会(西村・園田議員)

中村弘信議員を偲んで

中村弘信議員の突然の悲報に接し、深い悲しみに包まれています。

昨年七月六日の初当選以来、議会の新しい力として大きな期待を集めていた矢先、作業中の不慮の事故により、あまりにも突然、この世を去られました。誠に残念でなりません。

中村弘信議員は、誰に対しても優しく、分け隔てなく接する温かいお人柄で、多くの村民に親しまれていました。また、特産品開発を通じて「この地域を良くしたい」と情熱を注ぎ、日夜奔走されていたその姿は、私たちの心に強く焼き付いています。

体力・気力ともに充実し、これから五木村のために頑張ろうという矢先に志半ばでの旅立ちとは、本議会にとっても大きな損失であり、悔やまれてなりません。

ここに、生前のご功績に深く感謝申し上げますとともに、安らかなるご永眠を心よりお祈り申し上げます。

五木村議会議長 早田 吉臣

つぶやき

寒の入りを迎え、冷気日増しに深まるこの頃、皆様におかれましては新たな気持ちでお過ごしのことと存じます。

さて、昨年の改選後、二回目の議会だより発行となりました。議会活動等出来るだけ分かりやすい内容、読みやすい文章を心掛けて執筆しております。多くの村民の皆様に読んでいただけるように、本年も昨年同様広報委員一同、精一杯取り組み所存でございます。お気づきの点等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

五木村議会議員、広報委員会の一員でありました中村弘信議員が去る一月十三日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

園田 久

五木村議会広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 黒木 一秀 |
| 副委員長 | 園田 久 |
| 委員 | 中村 弘信 |
| 委員 | 豊永 勝彦 |

次回の定例会は3月上旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。

表紙題字: 故 尾方 芳郎氏